

青森県日東櫻沢鉱山砂鉄鉱床調査報告

概 要

昭和30年7月から8月にかけて青森県日東櫻沢鉱山内桜沢・天狗岱両地域の砂鉄鉱床に対し物理探査（磁気探査を主とし電気探査を併用）およびその結果に基づき井戸掘ならびに地質調査を実施した。

桜沢地域では現在数本の坑道により採掘が行われており、この蘘行鉱床に対してはその賦存状態が知られているので、既知鉱床に対する物理探査の資料を得るとともに今後の開発に資する目的をもつて調査した。その結果

すでに知られている鉱床の賦存状況と一致する示徴を得、またその延長部に鉱床潜在の可能性をみいだした。

また天狗岱地域においては磁気探査により南北両露頭間およびその延長部における潜在露頭線を推定し、その台地下の一部においては濃集状態を推定し得た。

この結果に基づき行われた3カ所の井戸掘による調査において、いずれも砂鉄層の潜在を確認し、品位、厚さなどを調べてその潜在鉱量を推定した。

(調査：本間一郎)